

## とうえいCS 中間報告

## 【1年目：令和6年度】

- 理念・方向性の熟議 → 「笑顔と誇り 子どもの育つ力を信じて～」
- 学校教育活動・ふるさと学習の充実
  - ・窓口として学校と地域をつなぐ
  - ・活動の様子を地域に発信

## 【2年目：令和7年度】

## 熟議の場を広げる

- ・部活動について
  - ① 4/26 17名
  - ② 8/28 27名
 →校長会、三町村へ
- ・先生と 中 8/18 小 8/22  
育つ力を信じて～
- ・木育について 8/20 11名  
→年1回継続

## 一体型CSを目指す

- ・地域活動協力推進員  
学校運営協議会メンバーが  
活動にも参加する
- ・合同熟議の開催
- ・学校の要請に応じた活動、  
支援  
中学校からの依頼（職場体  
験、駅伝講習会、クイズ）

## 学校教育活動から広げる

- ・放課後活動としての「のび  
のび企画」 中：9/22  
小：6/23、11/6、2/2
- ・地域活動への協力  
現状把握 チラシの配布  
星空音楽祭でオニスターダンス
- ・とうえい学びのひろばでの  
個への支援

- 場の設定に努めた。
- ◇当事者である子ども、保護  
者、先生と話す機会がもて  
ない。
- ◇子どもを取り巻く教育課題  
地域課題が把握できない。

- コーディネーターだけでな  
く、つなぐ人材が増えたこ  
とにより、活動が充実して  
きた。
- ◇合同熟議では、現実的な課  
題と根本的課題のズレが生  
じ、調整が難しかった。

- 「のびのび企画」を始める  
ことができ、参加してくれ  
た講師の方からも好評を得  
ている。
- ◇中学生のニーズの把握が不  
十分だった。
- ◇地域講師のさらなる発掘

- \* 地域に出て地域課題をつか  
む。
- \* まずは、必要なことを必要  
な人と熟議する。
- \* 少しずつ関係人口を増や  
す。

- \* 持続可能となるよう、しく  
み・人材・資料を整える。
- \* 学校側との情報共有の継続  
と、地域活動にかかる窓口  
の一本化

- \* 放課後活動の可能性を広げ  
る。
- \* 部活動の地域展開への支援
- \* 地域コーディネーター、地  
域おこし協力隊としての企  
画・運営